



©Shigeto Imura

ヴァイオリン：大江 馨 Kaoru OE, Violin

仙台市出身。桐朋学園大学ソリストディプロマコースに特待生として入学。同時に慶應義塾大学法学部にて学び、卒業後、ドイツ・クロンベルクアカデミーを修了。2019年レオポルトモーツァルト国際ヴァイオリンコンクール第3位ならびに委嘱作品賞受賞。2013年日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞他全賞受賞等、国内外にて数々の受賞。これまでに尾高忠明、山田和樹、川瀬賢太郎各氏等の指揮でNHK交響楽団、ミュンヘン放送管弦楽団ほか数多くのオーケストラと共演を重ねる。使用楽器は株式会社文京楽器より、G.Cappaを貸与されている。

ヴィオラ：古屋 聡見 Satomi FURUYA, Viola

桐朋学園音楽学部在学中にN響アカデミーに在籍・修了。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンに入学。ベルリンフィルハーモニー管弦楽団を始めとする、ドイツ国内の主要オーケストラにエキストラとして参加する。その後セビリア王立管弦楽団にて副主席として半年間期間契約で在籍。現在は日本フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢、仙台フィルハーモニー管弦楽団等の国内オーケストラで客演首席として出演している。江戸純子、岡田伸夫、ヴァルター・キュスナーの各氏に師事。



チェロ：吉岡 知広 Tomohiro YOSHIOKA, Cello

桐朋女子高校音楽科（共学）を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。その後ドイツ、ライプツィヒ音楽演劇大学大学院に在学するとともに、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラと学生契約をし在籍。卒業後は同オーケストラアカデミーに在籍した。第9回ピバホールチェロコンクール第4位入賞。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団に首席チェロ奏者として在籍。また仙台市市民文化事業団・KHB東日本放送共催のコンサートシリーズ「イズミノオト」の企画コーディネーターを務める他、国内の様々なオーケストラの客演首席奏者など幅広く活躍している。

コントラバス：名和 俊 Shun NAWA, Contrabass

福島県いわき市出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。これまでにコントラバスを村上満志、吉田秀、西口勝の各氏に師事。第1回Japan International Contrabass Competition 第2位を受賞。2017年、ドイツ・ベルリンへ留学し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のコントラバス奏者であるエディクソン・ルイス氏の元で研鑽を積む。シュレスヴィヒホルシュタイン音楽祭を始め、ドイツ各地の音楽祭に出演。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団副首席コントラバス奏者、宮城学院女子大学非常勤講師。



©Ayane Shindo

ピアノ：北端 祥人 Yoshito KITABATA, Piano

大阪府出身。2016年、第6回仙台国際音楽コンクール第3位のほか、日本ショパンピアノコンクール、リヨン国際ピアノコンクール、リスト国際ピアノコンクール等、数多くの賞を受賞している。京都市立芸術大学、同大学院を首席で修了後渡独し、ベルリン芸術大学修士課程ソリスト科を経て、同大学室内楽科を修了。ソリスト、室内楽奏者として幅広く活動している。これまでに佐々木弘美、大川恵未、椋木裕子、上野真、マルクス・グローの各氏に師事。2020年度より東京芸術大学附属音楽高等学校の非常勤講師として、後進の指導にあたっている。

鯨を弾く



Kaoru OE Violin

Satomi FURUYA Viola

Tomohiro YOSHIOKA Cello

Shun NAWA Contrabass

Yoshito KITABATA Piano

2022.04.01(金) 開場 18:30
開演 19:00

日立システムズホール仙台・コンサートホール

【主催】nawa KIKAKU 実行委員会 【後援】河北新報社、公益財団法人仙台市市民文化事業団、公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団
【協力】日本音楽財団（日本財団助成事業）【制作協力】HAL PLANNING

ご挨拶

本日は「鯉を弾く」公演にご来場いただきありがとうございます。
世界はまだ新型コロナウイルス感染症に翻弄されておりますが、本日このように無事にコンサートを開催できることを、とても嬉しく思います。

今回は、私がとても思い入れのあるシューベルトの作品から、ピアノ五重奏曲「鯉」を中心としたプログラムを組み、また共演者には私が心から尊敬し、信頼する同世代の演奏仲間を迎えました。

この曲を作曲した当時のシューベルトが、音楽仲間との時間を一番に大切にしていたように、本日の公演も、演奏者とお客様が音楽を楽しむ時間を共有することができましたら幸いです。どうぞ最後までごゆっくりご鑑賞ください。

最後になりましたが、開催にあたりご支援ご協力をいただきました関係者のみなさまに、心より感謝申し上げます。

名和 俊

プログラム

シューベルト 弦楽三重奏曲 変ロ長調 D.471

F.Schubert : String Trio in B-Flat Major, D. 471

I. Allegro

ボッテジーニ ヴァイオリンとコントラバスのための 協奏的大二重奏曲

G.Bottesini : Grand Concert Duet for Violin and Double Bass

— 休憩 —

シューベルト ピアノ五重奏曲 イ長調 「鯉」 Op.114, D.667

F.Schubert : Piano Quintet in A Major, Op. 114, D. 667

- I. Allegro vivace
- II. Andante
- III. Scherzo:Presto
- IV. Andantino Allegretto
- V. Allegro giusto

シューベルト：弦楽三重奏曲 変ロ長調 D.471

シューベルトの弦楽三重奏曲は、より規模の大きな弦楽五重奏曲や弦楽四重奏曲、またピアノトリオといった彼の室内楽曲と比べると有名でないかもしれませんが、しかし、今回演奏される第1番はモーツァルトの影響を色濃く受けながらも、愛らしさをもつ、聴きごたえのある作品です。

シューベルトは2つの弦楽三重奏曲を作曲しており、いずれも変ロ長調で書かれています。第2番は完全なかたちで残っていますが、最初に作曲された第1番は、第1楽章のみ完成したところで作曲を中断したため、未完のままです。なお、第2楽章は39小節の断片のみが残されています。

同時期に交響曲第5番が書かれていますが、この時期に作曲されたものは素直で明るく、活気に満ちたものが多くみられ、希望に満ちた気持ちがこのような作品を生み出していると考えられます。

ボッテジーニ：ヴァイオリンとコントラバスのための協奏的大二重奏曲

G. ボッテジーニはイタリアのコントラバス奏者であり、その卓越した技巧からイタリアの名ヴァイオリン奏者ニコロ・パガニーニになぞらえて「コントラバスのパガニーニ」の異名をとるほどの超絶技巧奏者でした。コントラバスの独奏楽器としての可能性を示す為、多くの独奏曲や協奏曲をこの世に残してくれました。

この協奏的大二重奏曲は元々ボッテジーニがミラノ音楽院の学生の時に作曲した2台のコントラバスのための協奏曲であり、その後、パガニーニの弟子だったヴァイオリニスト、カミロ シヴォリの協力でヴァイオリンとコントラバスのためにデュオに作り直されました。

この作品は大好評を博し、ボッテジーニ自らがパピーニ、シギチェッリ、ヴェータン、ヴィエニャフスキといったヴァイオリンの名手と共に演奏し、今日でもコントラバスコンサートのレパートリーとして世界中で弾かれています。曲調はイタリアオペラを感じさせるような美しい旋律から激しい超絶技巧の掛け合いまでヴァイオリンとコントラバスで繰り広げられます。

シューベルト：ピアノ五重奏曲 イ長調「鯉」 Op.114, D.667

「鯉」は元々シューベルトが20歳の頃ピアノ伴奏の歌曲として作曲しており、その歌曲のファンであった裕福な鉱山技師で、チェロ愛好家のジルヴェスター・パウムガルトナーが作曲を依頼しこのピアノ五重奏曲が作曲されました。

パウムガルトナーが作曲依頼の条件として、「五重奏の中にコントラバスを入れること」「歌曲『鯉』の旋律に基づく変奏曲を加えること」の2点が挙げられていたといいます。

歌曲の「鯉」の歌詞は、ずる賢い漁師が罾を使って魚を釣り上げるさまを歌ったものです。しかし実際には、「男はこうにして女をたぶらかすものだから、若いお嬢さんは気をつけなさい」という意味の寓意となっていたそうです。シューベルトのピアノ五重奏曲「鯉」は、全5楽章で構成されており、第4楽章がこの歌曲を主題とした変奏曲であることで有名ですが、作品全体の主要な主題も『鯉』の旋律と関連付けられています。

シューベルトは、パウムガルトナーからの依頼後、すぐさま構想を練り始め、その年のうちに五重奏曲「鯉」を完成させたと言われていています。作品を世に出してお金をもうけることよりも、友人たちを楽しませることがシューベルトの作曲の原動力になっていたと考えられています。ピアノ五重奏曲「鯉」は、シューベルトの生前に出版されませんでした。身近な人を喜ばせたいという思いから、大きな力を発揮したシューベルト。彼の豊かな音楽は、今では、世界中の人々を楽しませています。今日の演奏会でも、演奏者と聴いてくださる方が、一緒に「楽しむ」時間を共有できましたら幸いです。

そして、忘れてはならない作曲を依頼したパウムガルトナー。この世に、こんな素敵な作品を残してくれた影の立役者を、世のコントラバス奏者は、感謝してもしきれないです。